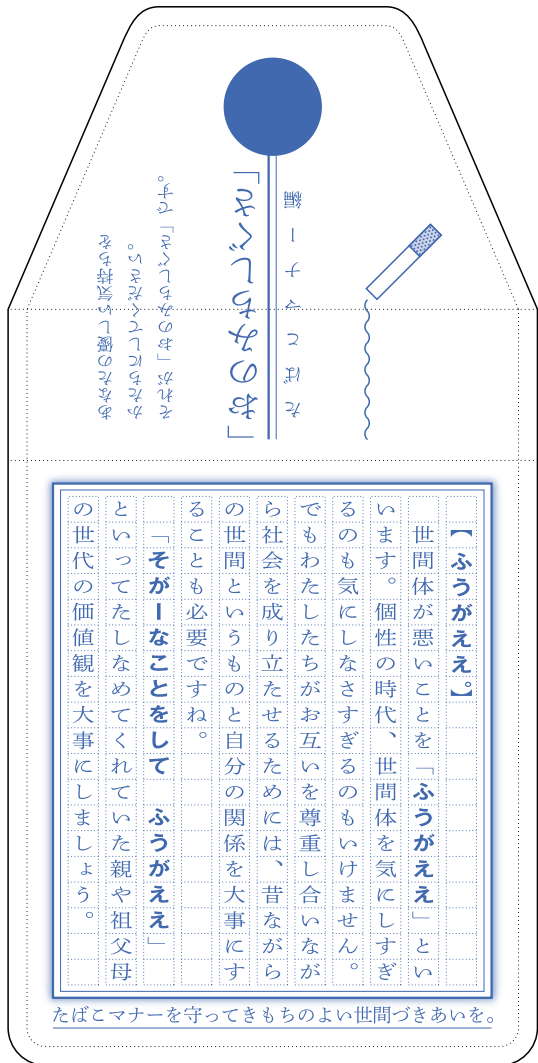


おのみちしぐさ(尾道市マナーキャンペーン/たばこマナー編)



「おのみちしぐさ」第一弾の携帯灰皿。  
グラフィックデザインにおいて、言葉(文字)の重要性は当然だが、今回の場合、方言とその利用場面の選別も重要となる。  
尾道市は、島のエリア・市街地域・山間部という大きく3つのエリアに区分できるのだが、それぞれの地域で使われる方言や使用方法も違っている。  
制作進行中の大型灰皿へのアプローチでは、その設置場所への言葉の選別が重要となる。言葉のアピール度を高く見せるために、原稿用紙を模したデザインを基本とし、文字をより強調するようアプローチしている。  
ad.d. 高岡陽 c. 灰谷謙二

●概要

尾道市は2011年秋より「マナーキャンペーン」をスタートさせた。その第一弾が携帯灰皿のデザイン制作である。

今回のキャンペーンは、以降、各所に設置される大型灰皿などに採用されてゆき、その後、生活マナー全般を様々な場面・形式などで広めてゆくことになっている。

タイトルの「おのみちしぐさ」は、「江戸しぐさ」という『江戸で生活する人たちが、仲良く豊かに暮らすための知恵』を取り入れている。これは、過去の民がこういった事柄を粹にまとめたもので、現代社会に必要なモラル集といっても良い。このタイトル提案があった時点で方言を利用したキャンペーンとすることを決定、瀬戸内地域の方言研究者である芸術文化学部日本文学科・灰谷謙二教授に方言の選択と執筆依頼し、制作を進めている。

